

平成28年版

洪水・ため池ハザードマップ



北 竜 町

〒078-2512 北海道雨竜郡北竜町字和 11 番地 1
TEL (0164) 34-2111 / FAX (0164) 34-2117

<http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/>

洪水・ため池ハザードマップとは

洪水ハザードマップとは…

洪水ハザードマップとは、北竜町において雨竜川などが大雨によって増水、はん濫した場合に浸水が想定される区域とその深さを示した地図のことです。この洪水ハザードマップでは、おおむね100年に1回程度おこる大雨を想定しています。浸水のおそれがあり、役場・消防署・警察署から避難勧告などが伝達された場合は、速やかに避難をしてください。

また、日頃から浸水のおそれがある場所や危険な場所を把握して、危険を感じたら、早めに自主的な避難を行うように心がけてください。

なお、地図に示した区域以外のところも、場合によっては浸水や土砂災害が発生することがありますので、注意してください。



ため池ハザードマップとは…

ため池ハザードマップとは、老朽化の進行や局地的な大雨、大規模な地震の発生などにより、ため池が決壊するなどして浸水が想定される区域とその深さを示した地図のことです。北竜町においては、9つのダム・ため池の浸水範囲が設定されています。大雨や地震の発生に備え、浸水する範囲を把握しておきましょう。

なお、洪水ハザードマップと同様に、地図に示した区域以外のところも、場合によっては浸水することがありますので、注意しましょう。

風水害から避難をするときの注意点

動きやすく安全な格好で！

避難するときは、動きやすく安全な服装にしましょう。ヘルメットや防災ずきんで頭を保護しましょう。

靴はひもでしめられる底の厚い運動靴を。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。素足は厳禁です！



歩ける深さに注意！

歩行可能な水深は、ひざの高さくらい（約50cm）です。水の流が速ければ、20cm程度でも要注意です！無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



足元に注意する！

水面下にはマンホールや側溝などの危険があるので、長い棒を杖代わりに突き、確認しながら進みましょう。



集団での避難を！

単独行動をせず、集団で避難しましょう。



車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。



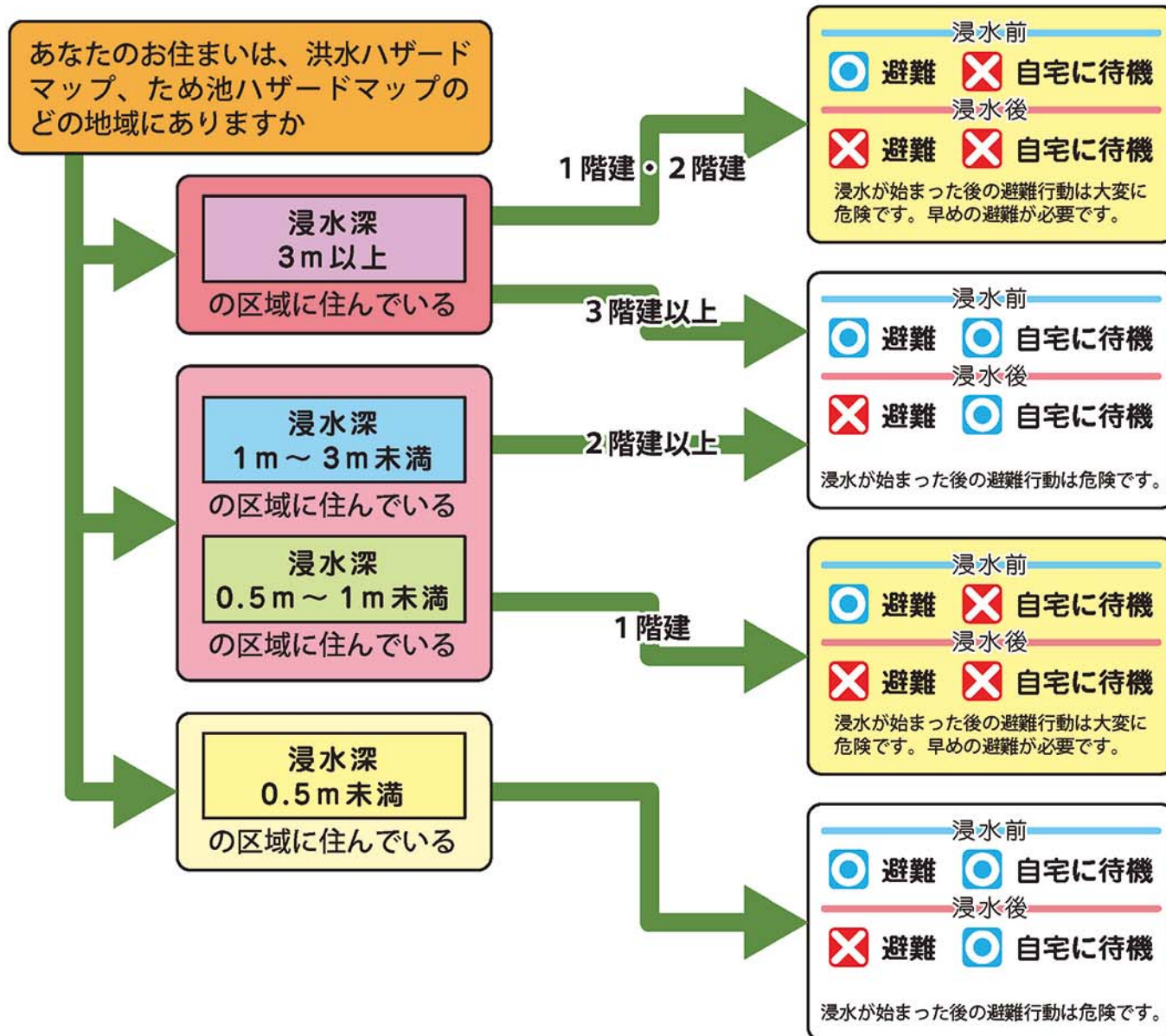
自宅待機への備え

自宅待機した場合に備えて、必要なものをそろえておきましょう。

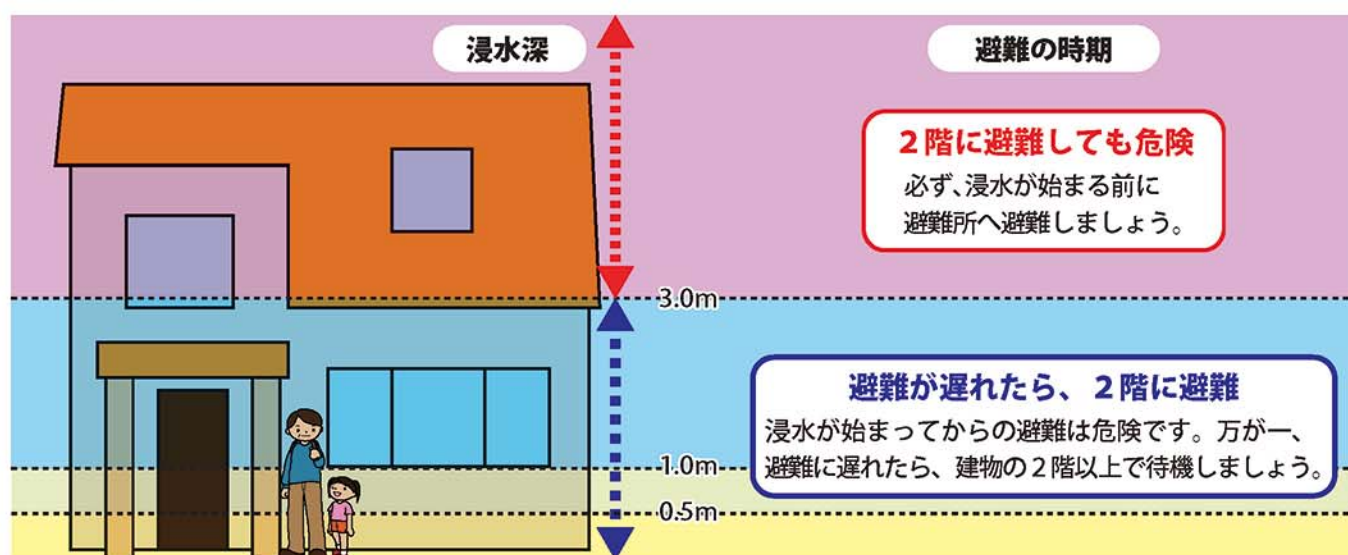
適切な避難の時期を確認しましょう

洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ですが、万が一の事態に備え、ハザードマップより自宅の浸水深を確認し、下のフローチャートと浸水深のイラストから避難の時期と避難先を判断できるようにしておきましょう。

避難時期・避難先フローチャート



浸水深の目安



避難所と緊急連絡先

地区	種別	避難所名称	所在地	電話番号
美葉牛の一部	収容	美葉牛地域農業研修センター	美葉牛81-7	0164-34-3042
	一次	美葉牛地域農業研修センター・グラウンド	美葉牛81-7	—
	収容	碧水生きがいセンター	碧水20-1	0164-34-2109
	一次	碧水生きがいセンター・グラウンド	碧水20-1	—
碧水・岩村 共栄・古作 板谷・西川 桜岡	収容	北竜中学校	板谷150	0164-34-2002
	一次	北竜中学校グラウンド	板谷150	—
	収容	北竜町公民館	和10	0164-34-2553
和町 和東町 和本町 三谷	収容	北竜町農村環境改善センター	和10	0164-34-2553
	収容	老人福祉センター	和19-6	0164-34-2435
	収容	真竜小学校	和10-1	0164-34-2018
	一次	真竜小学校グラウンド	和10-1	—

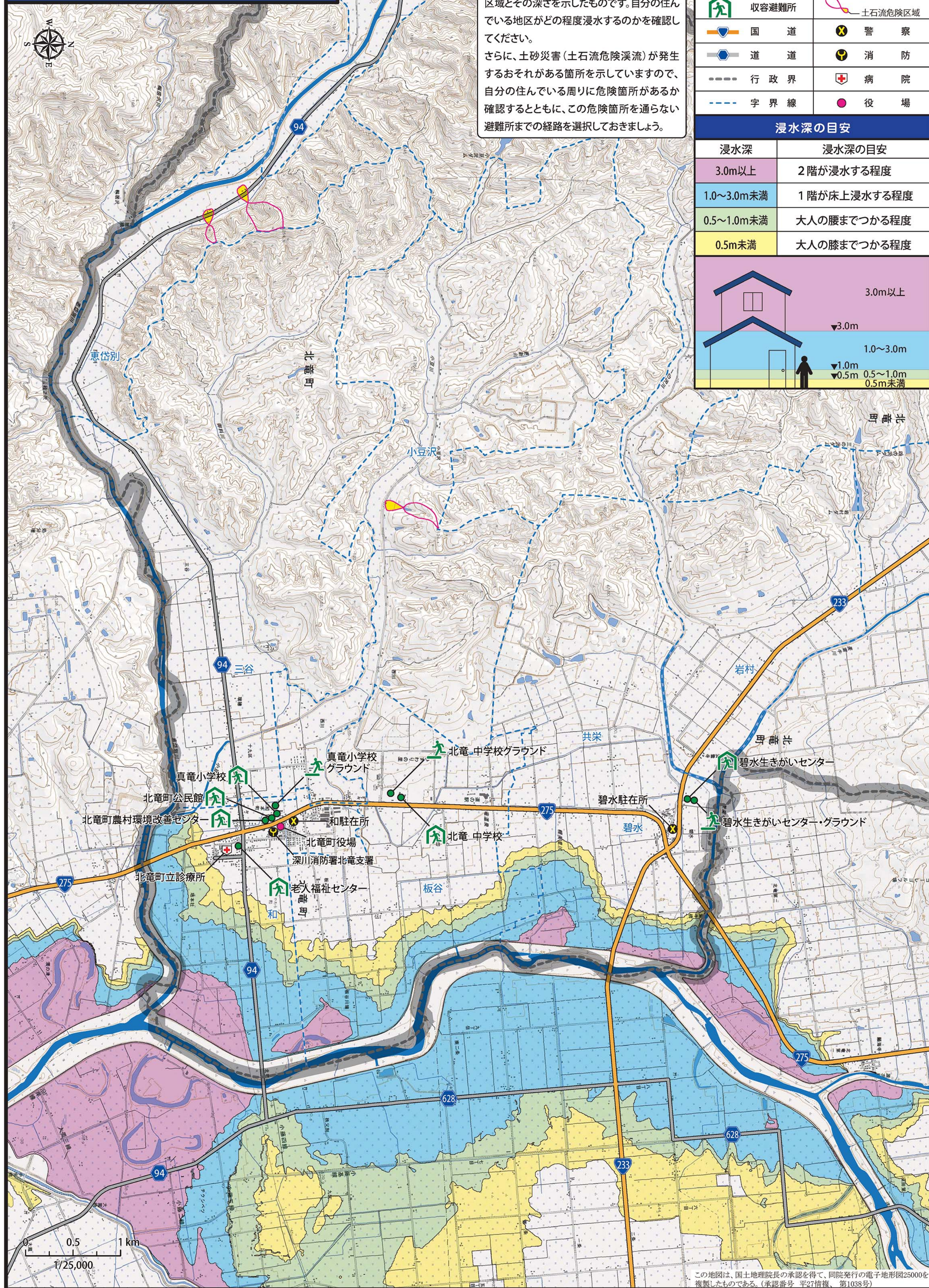
緊急連絡先	● 北竜町役場	0164-34-2111	● 和駐在所	0164-34-2100
	● 深川消防署北竜支署	0164-34-2200	● 碧水駐在所	0164-34-2139

もしものときに備えて…

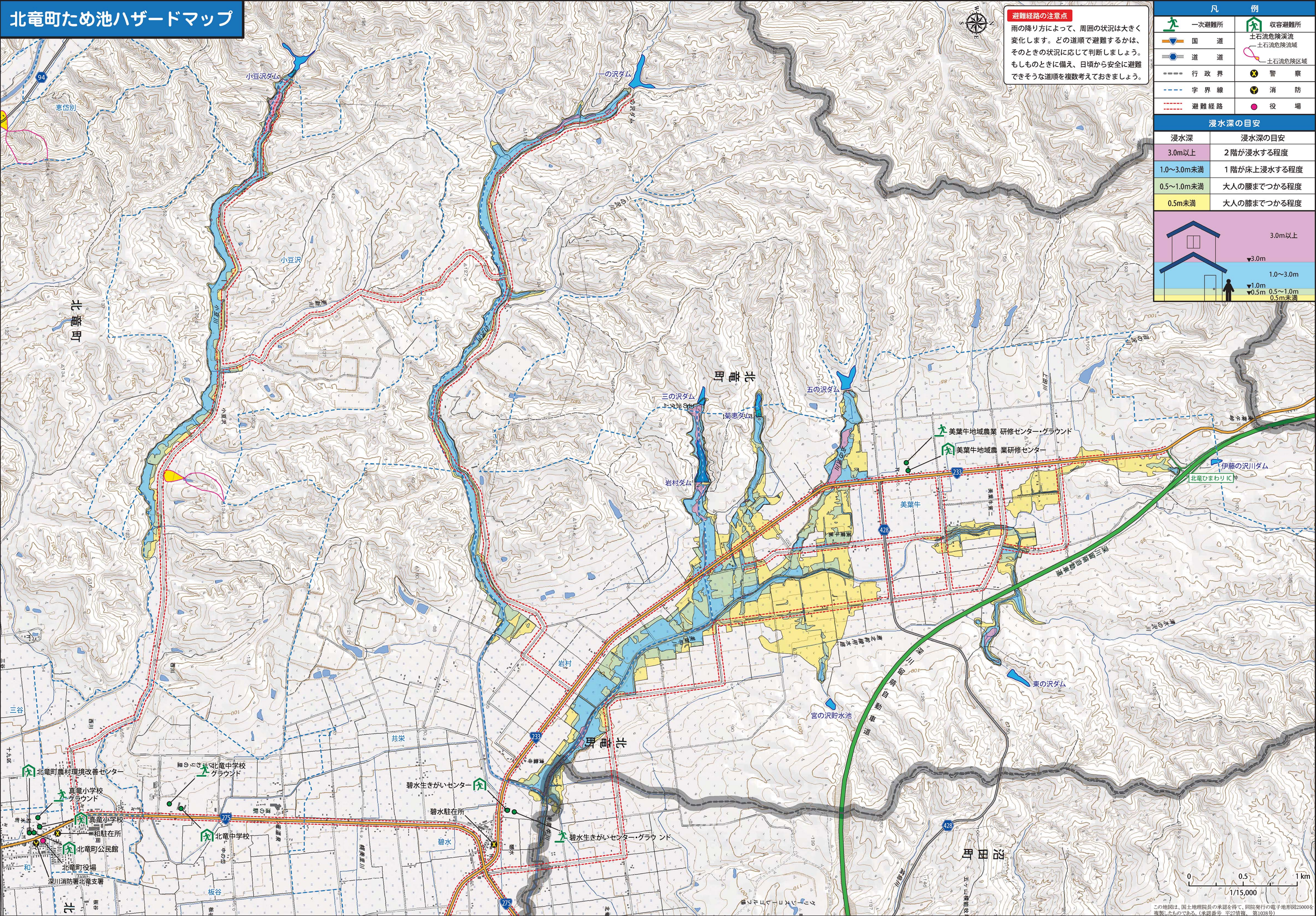
もしものときに備えて、避難所、家族と離れたときの集合場所、緊急時の連絡先などを記入しておきましょう。

大雨（洪水）のとき	
土砂災害のとき	
家族と離れた ときの集合場所	
緊急時の連絡先など	

北竜町洪水ハザードマップ



北竜町ため池ハザードマップ



避難経路の注意点
雨の降り方によって、周囲の状況は大きく変化します。どの道順で避難するかは、そのときの状況に応じて判断しましょう。もしものときに備え、日頃から安全に避難できそうな道順を複数考えておきましょう。

凡	例
一次避難所	収容避難所
国 道	土石流危険渓流
道 道	土石流危険流域
行政界	土石流危険区域
字 界 線	警 察
避難経路	消 防
	役 場

浸水深の目安	
浸水深	浸水深の目安
3.0m以上	2階が浸水する程度
1.0～3.0m未満	1階が床上浸水する程度
0.5～1.0m未満	大人の腰までつかる程度
0.5m未満	大人の膝までつかる程度